

News Release

AI 要件定義サービス「CoBrain」が MCP に対応

～コンテキスト同期の仕組み化により、開発全体の不確実性を制御する「AI 駆動開発の司令塔」へ～

株式会社エクスマーション（東京都品川区／代表取締役社長：渡辺博之）は、AI 要件定義サービス「CoBrain（コブレイン）」において「Model Context Protocol（MCP）」に対応したことをお知らせいたします。

MCP は、AI と外部のデータやツールを安全につなぐためのオープンな標準規格です。本対応により、CoBrain 上の「仕様」が、開発で使う各種ツール（GitHub Copilot や Claude Code などの AI コード生成ツール、IDE、テストツール、Jira 等の管理ツール）と自動で連携します。これにより、要求からコードへの具現化（Forward）と、コードから仕様への追従（Reverse）の両方を実現し、開発全体で「仕様とコードのズレ」が生まれにくい状態をつくります。

■ 開発の背景：AI 時代に浮き彫りとなった「人間の認知と手作業の限界」

生成 AI の普及で、コード生成やドキュメント作成といった「個別の作業」は大きく高速化しました。しかし開発全体を見渡すと、「要件をタスクに分解する」「仕様の意図をコードに落とし込む」「変更に合わせてドキュメントを直す」といった工程と工程のつなぎ目は、今も人の手作業と記憶に頼っているのが実情です。

特に、変更を重ねる開発では、仕様書とコードの整合性を人の手だけで保ち続けるのは困難です。保守に労力をかけても更新漏れや認識のズレは積み重なり、やがてシステムがブラックボックス化していく。これが従来の開発プロセスが抱える構造的な課題でした。

エクスマーションは、これまで人が必死に支えてきた「工程間の情報の受け渡し」そのものを MCP という仕組みに委ね、人手が介在することによる摩擦やボトルネックを解消することこそがこの課題を根本から解決する手立てだと考え、本対応に至りました。

■ MCP がもたらす 3 つの実効的アプローチ

1. 仕様から実装・テストまでを一気通貫でつなぐ (Forward)

CoBrain で整理した要求・仕様のデータを IDE や GitHub Copilot・Claude Code などのコード生成 AI、テスト自動化ツールへ直接渡します。AI やツール間で「仕様の背景や意図」を保ったままコードやテストの作成が可能になり、上流と下流の解釈ズレによる手戻りを最小限に抑えます。

2. 既存コードから仕様を引き出し、追従させる (Reverse)

既存のソースコードや変更履歴から仕様を逆引きして可視化する「リバース要件定義」を支援します。レガシーコードを起点に要件を可視化し、変更開発・派生開発のスタート地点をつくります。

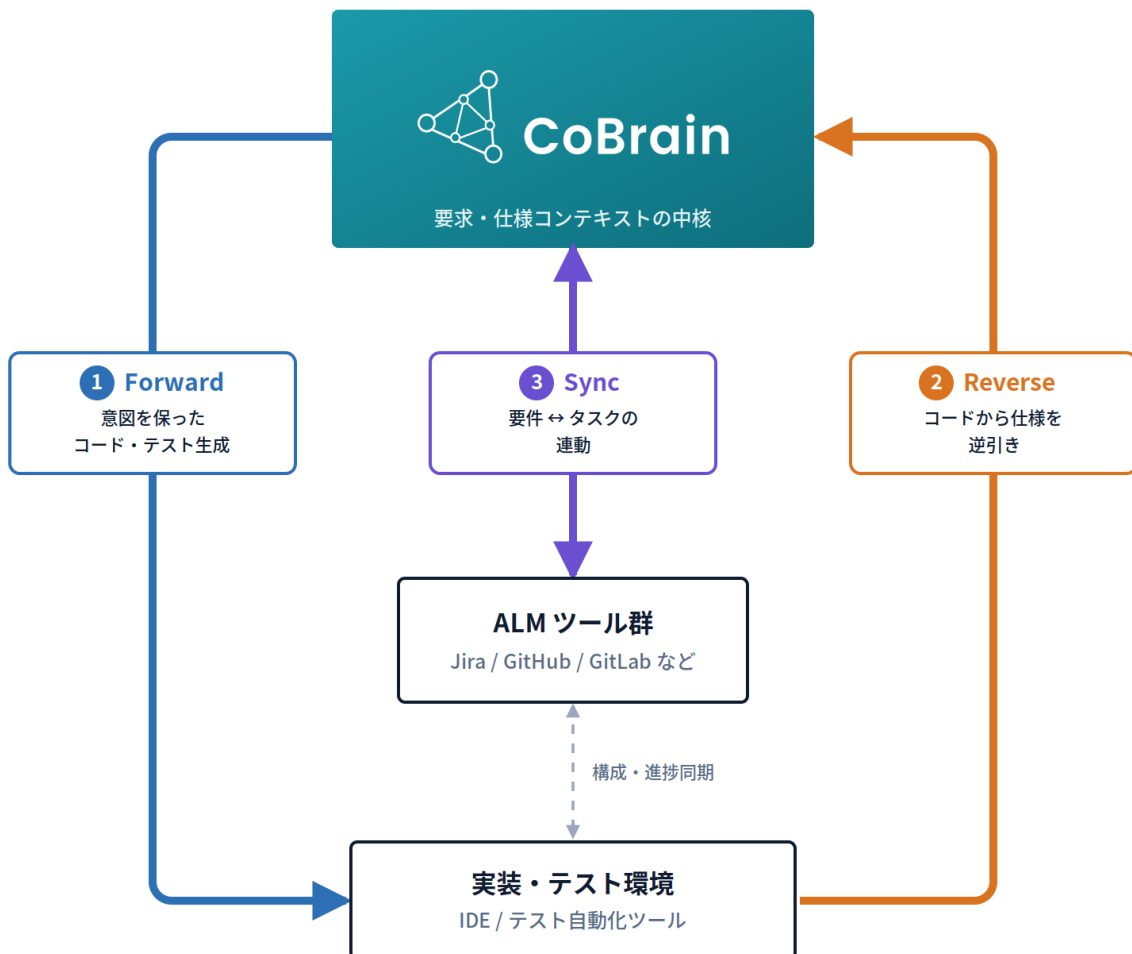
3. 管理ツールと仕様をつなぐ、AI 駆動開発の司令塔 (Sync)

Jira や GitHub などの開発管理 (ALM) ツールと、CoBrain が整理した仕様を緊密につなぎます。実装タスクへの分割、要件の実装進捗管理など、AI がプロジェクト全体の文脈を理解し、次の工程へ自ら進めるようになります。

このような複合的なアプローチを兼ね備えることで、CoBrain は開発全体を束ねる「AI 駆動開発の司令塔」となります。

MCPがもたらすトリプルループ

仕様を中核に、実装と双方向で回り続ける開発サイクル



■ AI 要件定義サービス「CoBrain」について

CoBrain は、要件定義を AI で支援するサービスです。これまでの歩みは次のとおりです。

- 2024 年 11 月、要件定義書の AI レビュー機能を提供開始
- 2025 年 11 月、AI が理解しやすい USDM 形式での要件定義書生成機能をリリース
 - ▶ 要件定義書の作成工数を従来比 97%削減（社内検証値）

ご契約中のお客様には、開発チームを交えた毎月の意見交換会「マンスリーセッション」をはじめとするカスタマーサクセス活動に加え、今回の MCP 対応を機に当社のコンサルティングノウハウを生かした「AI 駆動開発」「仕様駆動開発」の伴走支援を本格的に展開していきます。

資料ダウンロードや無料トライアルのご用命、サービスに関するお問い合わせは下記のサイトにて承っております。

CoBrain Web サイト：<https://cobrain.jp>

■ 株式会社エクスマーションについて

エクスマーションは、お客様の"技術参謀"としてソフトウェアの品質改善を主導するためのサービスを提供している会社です。当社は、従来のコンサルティング事業に加え、「CoBrain」や「Eureka Box」といったコンサルティングの知見を活用したストック型サービスを提供することで、これまで以上に多くのお客様の課題解決に取り組んでまいります。

※ 本文記載の会社名、製品名、サービス名は、各社の商標または登録商標です。

※ なお、本件が当期の業績に与える影響は軽微であり、業績予想に織り込み済みです。

< 本件に関するお問合せ >

CoBrain サポート support@cobrain.jp

セールスマーケティング本部 sales@exmotion.co.jp

以上